

人類に
奉仕する
ロータリー

帯広西ロータリークラブ 第2148回例会 2016.8.18

会報



■RI第2500地区テーマ■

ロータリーのあしたのために、
積極的に行動しよう

■クラブ・テーマ■

ロータリーを分かち合おう

ビジター紹介

帯広ロータリークラブ森田幹也様。
本年7月からNTT東日本の支店長と
して帯広に着任されました。よろし
くお願いいたします。



江口文隆 副会長



会長報告

連日オリンピックを見ていて、
内村選手の逆転の金メダルや、
愛ちゃんの卓球を見ていても、
本当に何だか感動するばかりで、
何でオリンピックだとこんなに
興奮するんでしょう？普段頼ま
れても例えばフェンシングやレスリングはまず見ま
せんよね？オリンピックという冠があると、やたら
興奮して力が入ってしまうというのは、オリンピッ
クの魅力なのかもしれません。

柔道も今回は調子が良く多くのメダルを獲りまし
た。その中で一人、非常に印象に残った選手が
おられました。女子の柔道で日本の中村美里さんを
破って金メダルを獲られたコソボ共和国のマイリン
ダ・ケルメンディ選手という方です。コソボ共和国
というのは、旧ユーゴスラビアが崩壊したあと、そ
の連邦の一つだったセルビアという国が非常に圧制
をしたために、その中のコソボ自治州が独立運動し
てコソボ共和国になったのですが、独立するにあ
たって、非常に激烈な、本当に血を血で洗うような、
まさに民族間の闘争というか内戦があった結果、コ
ソボ共和国という国が出来たわけです。

古田敦則 会長



彼女はそのロンドンオリンピックにも出たそう
なんです、ロンドンオリンピックの時にはこのコ
ソボ共和国というのがIOCに正式な国として認めら
れていなかった、隣の市民権を持っているアル
バニアの代表としてロンドンオリンピック出場しま
した。

私たちには想像出来ないような、いわば戦争が起
こっている中で生まれて、戦争が自分たちの日常に
あるようなところで育った彼女にとって、このオリ
ンピックに辿り着くには、それは本当に私たちの想
像を超えるようないろいろな物語があったのではない
かと思います。ましてやこのコソボ共和国という
本当に小さな国の国民にとって、彼女が金メダルを
獲ったということは、かけがえのない本当に意義深
い勇気を与えることだったのではないかと思います。

私が彼女の優勝で非常に感銘を受け感動したの
は、彼女は優勝のインタビューで「たとえ紛争を経
験していても、願いは叶えられる。たとえ多くの問
題を抱え、小さくて貧しい国にいても、五輪
のチャンピオンになるような大きなことが出来るん
です。私はそう子どもたちに伝えたい。私の愛する
コソボの国民の人たちにそのことを伝えたい。」とい
うことを彼女は話をしておられました。

この言葉にこそ先程言った「オリンピックって何
でこんなに感動するんだろう？」につながり、それ
は多分オリンピックそのものにその人の人生や、そ
の人の生き様や、その人の生きる気持ちというもの
がそのものに表れているから、私たちは震えるよう
な感動を感じるのではないかと思います。

「平和の祭典」とオリンピックはよく言われます
が、平和の祭典でも実際の政治や紛争、経済とは切
ては切れないのは現実であります。

私たちロータリアンもいろんな意味で世界的な奉



会長 古田 敦則 副会長 江口 文隆 会場監督理事 森 房明 発行：広報委員会
幹事 谷脇 正人 副会長 山本 範之 プログラム委員会理事 河合 敏 委員長 伊東 肇 (副)辻田 茂生



例会日/木曜日 12時30分～13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

仕活動や活動をしておりますが、私たちが手を差し伸べるそうした国々一つ一つにもそうした物語があったり、そうした苦難があったりということは、私自身は常に頭に入れながら、ロータリーそのものの活動をしていかなければならないんじゃないかということを常に思っています。

さて、皆さんの方にいろいろご案内がいらっしゃると思いますが、いよいよ地区大会が10月に迫り、25日締切でのご案内がいらっしゃると思います。半分くらいの方のご返事はいただいておりますが、是非

ゴルフをされないという方にも是非是非ご出席をいただきたいと思います。期間中は谷脇幹事が身を挺して皆さんのおもてなしをいたしますので、絶対楽しいこと請け合いでございます。是非地区大会には一人でも多くの方々と1年間懇親を深めたいと思いますので、ご出席の返信をしていただきたいと思います。

以上、会長報告といたします。ありがとうございます。

■ 会務報告

谷脇正人 幹事

- ①2016-17年度地区大会開催のご案内
- ②帯広西RC、夜間例会開催のご案内
- ③帯広北RC、家族野遊会開催のご案内
- ④帯広東RC、家族野遊会開催のご案内
- ⑤帯広RC、8月31日(水)の例会は、休会と致します。



■ 委員会報告

◎ロータリー情報委員会

久保且佳 委員長

第1回家庭集会FAXでの案内について
今回のメインテーマは「例会頻度」です。よろしくお願いいたします。



◎青少年奉仕委員会

伊藤公康 委員長

第21回12時間チャリティソフトボール大会、ローターアクトのチャリティソフトボール大会案内



◎SAA

森 房明 SAA

本日からテーブルマスターということで、一輪挿しを各テーブルに置かせていただきました。
テーブルマスターの目的

- 1 資料を配布していただく。
- 2 テーブルでの私語等をコントロールしていただく。
- 3 積極的に話題を提供していただきテーブルを盛り上げていただく。

是非みなさんに積極的に活用していただければと思います。



◎親睦活動委員会

小野辰夫 委員長

9月11日(日)開催の家族や友会の「みんなでわいわい競馬場で収穫祭」案内。



■ ニコニコ献金

親睦活動委員会 松本和彦 会員

古田 敦則 会長

先日の点鐘、失敗して大惨事になりました。今日は慎重の上にも慎重に点鐘します。

山本 範之 副会長

ロータリーの沢山の人のよって作られていました。今日担当です。よろしくお願いいたします。

久保 且佳 委員長

本日ロータリー情報委員会担当例会です。よろしくお願いいたします。

本田美喜男 会員

第58回帯広盆踊りで団体優勝いたしました。V4の達成です。ご声援ありがとうございました。

石原 英樹 会員

8月6日ゴルフ同好会にて、真ん中賞をいただきました。

深澤 知博 会員

西ロータリーコンペで、他力で馬券が久々に当たりました。

奥田 頼昌 会員

久しぶりにゴルフ同好会で優勝しました。次回からは参加するだけになりました。

永松 昭子 会員

本日偶然にも例会と誕生日が同じでしたので、ニコニコ献金させていただきます。

菊池 俊博 会員

息子白樺学園アイスホッケー部2年です。先日全国選抜大会で惜しくも準優勝でした。手応え感じる試合でしたので、インターハイでは魅せてくれると信じています。

松本 和彦 会員

初めてニコニコ献金の発表をさせていただきますので、ニコニコさせていただきます。





本日はロータリー情報委員会の担当ということで、ロータリーの基本的なお話から、そして今年は規定審議会という改定の年になり、改定のお話などを今回は山本会員に無理を言ってお願いいたしました。山本会員はクラブの定款の改正に携わり非常に細かな部分まで熟知している方だと思います。今日は最近のロータリーのことを中心にいろいろとお話をさせていただけるということなので、山本会員よろしくお願いたします。



山本範之 会員

みなさんこんにちは。久しぶりにロータリーを勉強することになりまして、私自身「そうだったのか!」と改めて思っています。最近の規定審議会で決まった定款などの改定を見ると、「ロータリーはどこへ向かってるんだろう?」という感じが実はしていました。次第にボランティア活動が強調され、会員資格、例会の意義が大きく変化しています。では初心に戻ってロータリーが創られた想い、ようやく現在の土台が出来た経緯、そして最近のロータリーの変化をまとめてみました。

ロータリーが創られた頃は、ギャングが闊歩していた時代で罪悪と腐敗の街とも言われました。少しぐらい悪いことをしても慈善事業をやれば許された時代の典型の写真といえます。当時のシカゴは鉄道がどんどん伸び近代化し、経済が過熱。過当競争や誇大広告といった不正が横行。自由競争の中で生きているビジネスマンにとっては、毎日過酷な日が続く、孤独と疎外感に加えていつもこの過酷な自由競争の敗者になるかもしれないという恐怖感が常に付きまとっていました。そんな状況で「もしもこの街の中で心から何でも相談できる、また語り合える友人がいたらどんなに素晴らしいことだろう」。そういう発想が生まれてきました。皆さんもご存知かと思いますが、「お互いに信頼できる校正な取引をし、仕事上の付き合いをそのまま親友関係にまで発展するような仲間を増やしたい」という趣旨でロータリークラブが誕生しました。「職業倫理を重んじる実業人、または専門職業人の集まりで会を創ろう。そして一業一会員制、例会出席義務としよう」という動きになりました。一業一会員制は同業者がいるとお互いに利害関係が生じ、親睦が阻害されると考えて採用したことです。当時の奉仕の概念は無く、事業の反映と親睦を目的に建設されました。最初の綱領はこの二つで、会員の事業上の利益の促進は統計係がいて、会員相互の取引の結果を例会で報告をしていたそうです。会員各自の事業内容や取引状況や部外者に漏れないように機密保持を徹底していました。「折角一人一業種で沢山の仲間が集まったのだから、お互いの商売を利用して金儲けをしたらどうか?」というお互いを助けるという相互扶助の考えが起こってきていました。ここにある会員同士の親睦とは例会に出席するということです。1906年、入会勧誘に関してドナルド・カーターがロータリーの独善性、閉鎖性、非社会性を指摘。ポール・ハリスはすぐに「シカゴ市への貢献と市民としての誇りと忠誠心を普及しよう」ということを追加しました。シカゴにトイレを設置するという初めての社会奉仕活動になります。ここで新入会員がクラブに指摘したのもすごいですけど、その時にポール・ハリスがすぐに追加したというのもすごいいい感じがします。

「ビジネスは全て社会に尽くす手段でなければならない」という信念と共に生きたロータリーの三賢人、ロータリーの哲学者と言われているアーサー・フレデリック・シェルドンです。シェルドンはシカゴロータリークラブで、職業は自転車書籍の訪問販売、次に印刷会社、最後にはビジネススクールを営んでいます。「最も多くサービスするもの、最も利益を得る」と考えられています。シェルドンは持続して反映している企業に共通して見られる特徴を「サービス」と名付けました。

それではここで表現されているサービスとは。仮定で西ロータリークラブ会員の繁盛しているお店で例えてみます。サービスが行き届いている西ロータリークラブの会員のお店は、「もう一度行ってみよう」、「人に勧めたい」という気も起きると思います。結果的にサービスをするトリピーターが増え、新しい顧客も獲得してお店は繁盛して発展を続けることとなります。西ロータリーの会員は職場でニコニコしながら職業奉仕を実践しているということとなります。継続的な発展を得るためには自分の儲けを優先するのではなく、自分の職業を通じて社会に貢献するという意図を持って事業を営む、ということです。

もうひとつの標語、他人のために尽くすことに意義の重要性を説いた、ロータリーの三賢人、ベンジャミン・フランク・コリンズさんです。コリンズがSAAだった時に「クラブに楽しみと活気を与えよう」と月1回の例会を週1回にしました。「ピクニックに背広を着てくるのは仰々しい」「パイプで煙草を吸うやつは気取り屋」と50セントの罰金を課したのがニコニコの由来といわれています。そして「自分のためにだけでなく、仲間のために」という考えを実践しました。単語を変えて現在の標語になり、「超我の奉仕」という造語で、意味としては「他人のことを思いやり、他人のために奉仕をする」という社会奉仕活動のフレーズになりました。

ここ何年かの審議会で2001年一人一業種制を緩和。2007年には職業人以外に地域社会のリーダーの入会が認められる。13年には家事のため仕事を中断または仕事をしていない人を正会員として認める。つまり無職の人でもロータリアンになれるということになりました。これにより会員資格は意味をなさなくなったと言えると思います。

定款では「毎週1回定期的に会合を開かなければならない」となっています。クラブの奉仕活動参加を出席OKとしています。13年の参加要件、16年にはクラブ例会は最低1ヶ月2回開催、祝日のある週はクラブの例会の取引が出来るとなりました。

ロータリーの友7月号に掲載され読んだ方もいらっしゃると思いますが、今年度のジョンF.ジャーム会長は「クラブはいつも食事が中心でした。昼食や夕食が会費の一部を占め、これまではこれで上手くいっていました。しかし社会が変わりました。若いビジネスマンにどうしたら入会してもらえるでしょうか？出席へのこだわりを減らすことはその一つの方法といえるでしょう。私の問いは例会を何回開きましたかではなく、地域社会にどのような変化をもたらしていますかというものです。」何回かの規定審議会の改定は、若い人の入会を促進するためのハードルを下げている。それが会員資格や入会金会費の負担を減らすことに向かっていると思います。今回の規定審議会での改定で例会頻度の変更に関してはクラブ細則の改定が必要となります。

職業奉仕の重要性を強調し、初期のロータリーの組織化に貢献、ロータリーの三賢人、ロータリーの建設者と言われているチェスリー・R・ペリー。「世界を改善する最も良い方策は、自己を改善することである。ロータリアンという言葉は一欠片の銀でも純銀といえるのと同じように本物でなければならない。だからロータリアンは集団の活動においてではなく、個人として絶え間ない確固とした活動の中で自らの潜在的な全資質を磨いていかなければならない」と言っています。

最後にポール・ハリスはこうつぶやきました。「ロータリーは人間の生き方であり、善意で気取らない健全な、そして親切な生き方である。」ご清聴ありがとうございました。